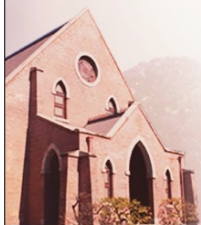


建学の精神とキリスト教 - 501 【第9回】

## イエスとその運動

同志社大学 神学部教授  
良心学研究センター長  
小原 克博



1

# 1

## 新島襄と キリスト教の出会い

3

## Overview

1. 新島襄とキリスト教の出会い
2. イエスと弟子たち
3. キリスト教の始まり
4. 今回の課題

2

## 新島襄とキリスト教の出会い

「日本脱出の理由」  
(1865年、ハーディー  
に宛てて、新島が自ら  
の前半生を英語で記し  
たもの) から、新島の  
最初のキリスト教理解  
を確認する。



4

ある日友人を訪ねると、彼の書齋で**聖書**から抜粋したものをまとめた小冊子を見つけた。それはあるアメリカの宣教師が漢文で書いたもので、聖書の中のもっとも重要な出来事だけが記してあった。私はそれを彼から借り、夜に読んでみた。なぜなら聖書を読んでいることが知れると、幕府は私の家族全員を磔にするので、私は野蛮な国のおきてを恐れていたからだ。  
(1865年、『新島襄自伝』23頁)

👉 『新島襄365』 【4月22日】

5

次に私は**イエス・キリスト**が聖霊の御子であること、その方は全世界の罪のために**十字架**につけられたこと、それゆえ私たちはその方を私たちの**救い主**と呼ぶなくてはならないことを理解した。  
(同、23-24頁)

7

私はまず**神**のことが理解できた。すなわち神は天と地を分けたうえ、光を始めとして草木や鳥獣、魚などを〔次々と〕地上に**創造**された。神はご自身の姿に似た形に男を創り、そして彼のあばら骨を切り取って女を創られた。神は宇宙のすべてを創造した後で休まれた。その日を私たちは、**日曜日**または**安息日**と呼ばねばならない。(同、23頁)

→ **天地創造（「創世記」1～2章）、神の似姿としての人間、安息日（日曜日）**

6

そこで私はその本を置き、あたりを見まわしてからこう言った。「誰が私を創ったのか。両親か。いや、神だ。私の机を作ったのは誰か。大工か。いや、神だ。神は地上に木を育てられた。神は大工に私の机を作らせられたが、その机は現実にどこかの木からできたものだ。そうであるなら、私は神に感謝し、神を信じ、神に対して正直にならなくてはならない」と。(同、24頁) → **創造者なる神**

👉 『新島襄365』 【4月22日】

8

そこで私の心は一転して、国外脱出を考えるに至った。しかし、私はためらった。祖父や両親を悲しませるだろう、との思いがあったからだ。その思いがしばらくの間、私の心を捉えた。けれども、やがて別の考えが頭にひらめいた。それは、私は両親から生まれ育てられたが、本当は**私は天の父のもの**である。それゆえ私は天の父を信じ、その父に感謝し、そしてその父の道を進まなくてはならない、という考えである。こうして私は日本から連れ出してくれる船を探し始めた。(同、25頁)

👉 『新島襄365』 【4月24日】

9

## イエスの誕生とその背景

- ・ガリラヤ地方南部の町ナザレで
- ・聖書ではベツレヘム（ダビデ王の故郷）で誕生したとされる（ルカ、マタイ福音書）。
- ・ユダヤ教（ヘブライズム）の伝統の中で — 律法をめぐる論争
- ・ローマによる支配、ギリシア文化（ヘレニズム）の中で



11

# 2

## イエスと弟子たち

10

## イエスの最初の宣教

- ・「ヨハネが捕らえられた後、イエスはガリラヤへ行き、神の福音を宣べ伝えて、「時は満ち、**神の国**は近づいた。**悔い改めて**福音を信じなさい」と言われた。」（「マルコによる福音書」1:14-15） → **悔い改め（メタノイア）**
- ・イエスには人々を改宗させ、新しい宗教を作ろうとする意図はなかった。  
→ 新島襄「**吾人が志す所の者、なおその上に在るなり**」（「同志社大学設立の旨意」）

12

## イエスの教え

- ・ ユダヤ教イエス派
- ・ イエスは30歳代に運動を開始し、一年ほど続く。ローマ帝国の反逆者として、十字架刑に処せられる。
- ・ 新約聖書によれば、イエスは死の三日後に復活し、弟子たちの前に現れ、40日後に天に昇ったとされる。

13

# 3

## キリスト教の始まり

15

## イエス・キリスト

- ・ いったんイエスを見捨てた弟子たちは、復活したイエスと出会う中で、イエスを「メシア」（救い主）として再認識した。このメシアがギリシア語で「キリスト」と呼ばれることになった。
- ・ イエス・キリスト：「イエスはキリストである」という信仰告白を含意。

14

## キリスト教の始まり

- ・ イエスの運動はユダヤ教内部の改革運動として始まった。
- ・ 第一次ユダヤ戦争（66-73）以降、ユダヤ教と、イエスを「メシア」「キリスト」と信じる共同体（キリスト教）は互いの違いを意識し始める。相互の批判も始まる（**反ユダヤ主義**の萌芽）。

16

## 連続性と断絶

- ・ イエスの教えと教会（キリスト教）の教えの間の距離
- ・ イエスはクリスチャンか？
- ・ ヘブライズムとヘレニズムの距離
- ・ イエスとパウロの距離

17

## ユダヤ教と聖書

- ・ ユダヤ教にとってはタナハ（聖書）はタナハのまま。
- ・ タナハ＝トーラー（Torah モーセ五書物）、ネイビーム（Nevim 預言者）、ケトゥビーム（Ketubim 諸書）
- ・ 近年、学問の世界では「旧約聖書」ではなく「ヘブライ語聖書」という言い方が用いられている。
- ・ 「旧約」「新約」という呼び名に潜む反ユダヤ主義的傾向（キリスト教の優位性の主張）への反省が、その背景にある。

19

## 旧約聖書と新約聖書

- ・ カルタゴ教会会議（397）において、現在あるような形で旧約聖書（39巻）と新約聖書（27巻）が認定される。「正典」としての聖書
- ・ 2世紀のマルキオンによる「正典」運動（旧約聖書の排除、グノーシス思想への傾倒）への対応が背景にはある。
- ・ 「外典」「偽典」：『ユダの福音書』『マグダラのマリアの福音書』等

18

## 聖書とキリスト教文化

- ・ 聖書は文化の形成に影響を与えた。
- ・ 特に西洋では、絵画・建築・音楽・文学に大きな影響を与えた。
- ・ 文字（聖書）を読むことのできない人々のための教育的なツールとして、教会で絵画が用いられ始めた。
- ・ 西洋絵画は、4世紀から17世紀まで、その大部分をキリスト教絵画が占めている。したがって、それらを鑑賞しようとするれば、聖書の基本的な知識が必要となる。

20



フラ・アンジェリコ「受胎告知」(1438-1445頃)  
サン・マルコ修道院蔵(フィレンツェ)

21



レオナルド・ダ・ビンチ「最後の晩餐」  
1495-98頃(ミラノ)

22



レンブラント「ペテロの否認」1660  
アムステルダム国立美術館蔵

23



レンブラント「ペテロの否認」1660  
アムステルダム国立美術館蔵

24



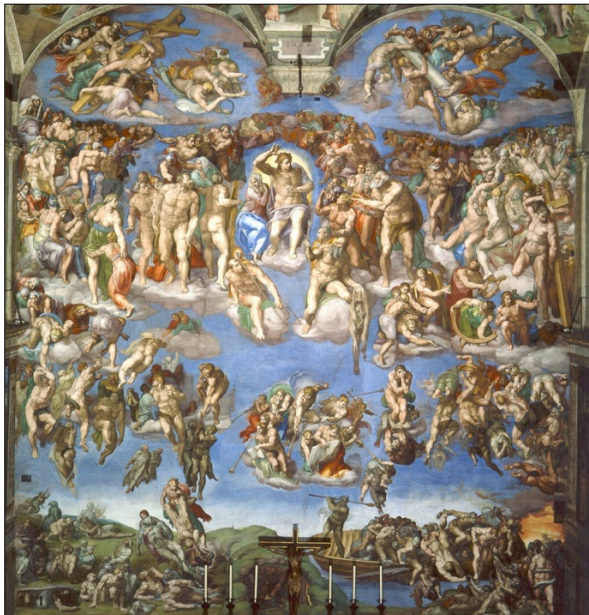
ルーベンス「キリスト降架」1612-1614  
聖母マリア大聖堂 (アントワープ)

25



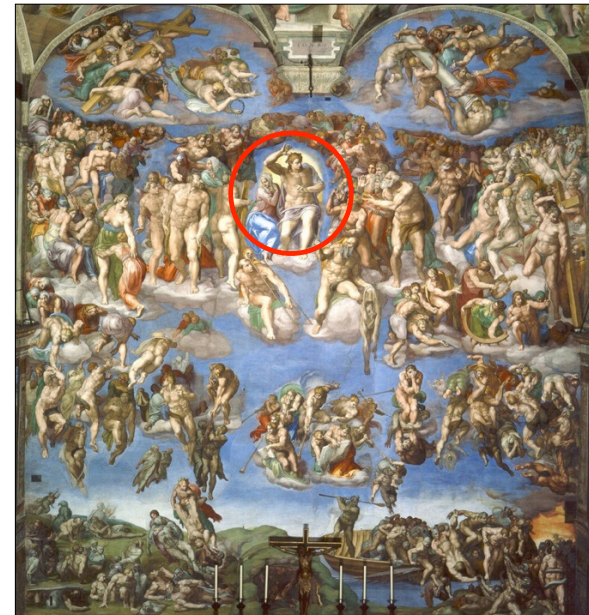
ルーベンス「キリスト降架」1612-1614  
聖母マリア大聖堂 (アントワープ)

26



ミケランジェロ  
「最後の審判」  
1536-41  
システィーナ  
礼拝堂  
(ヴァチカン)

27



ミケランジェロ  
「最後の審判」  
1536-41  
システィーナ  
礼拝堂  
(ヴァチカン)

28

## 4 今回の課題（600～800字）

- ・ 今回の講義の中で、あなたの印象に残った（重要であると思った）点（複数可）を、その理由と共に述べてください。
- ・ 『新島襄365』【10月1日】～【10月31日】を読み、もっとも関心をひかれた日付を《二つ》あげ、それぞれ、その理由を述べてください。